

令和 8 年度
(2026 年度)
美術研究科修士課程
芸術学専攻 英語

令和 8 年度（2026 年度）京都市立芸術大学大学院美術研究科（修士課程）
芸術学専攻 外国語試験（英語）

1 次の文章の下線部分を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：Scholte, Tatja. “A Conceptual Model for the Analysis of Site-Specific Installations.”
In The Perpetuation of Site-Specific Installation Artworks in Museums: Staging Contemporary Art, Amsterdam University Press, 2022, pp. 87-88.

2 次の文章を日本語に訳しなさい。

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

出典：Watt, James, and Anne Wardwell. *When Silk Was Gold: Central Asian and Chinese Textiles*. New York: Harry N. Abrams, Inc., 1997, p.53.

令和 8 年度

(2026 年度)

美術研究科修士課程

芸術学専攻

第二外国語試験 (ドイツ語)

1. 以下の文章の下線部を和訳しなさい（出典は和訳不要）

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

（出典：Florian C. Reiter, *Der Tempelberg Ch'i-Ch'ü in Der Provinz Szechwan, Im China Der Gegenwart*. Königshausen & Neumann: Würzburg, 1993, p. 21.）

2. 以下の文章を和訳しなさい（出典は和訳不要）

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

（出典：Meinrad von Engelberg, “Wie Deutsch Ist Der Deutsche Barock? Vorüberlegungen Zu Einer Neuen ‘Geschichte Der Bildenden Kunst in Deutschland.’” *Zeitschrift Für Kunstgeschichte*, vol. 69, no. 4, 2006, p 510.）

令和 8 年度

(2026 年度)

美術研究科修士課程

芸術学専攻

第二外国語試験 (フランス語)

1. 以下の文章の下線部を和訳しなさい（出典は和訳不要）

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

（出典：Lina Uzlyte, “Introduction de l’intelligence artificielle dans le métier de guide: Quel impact sur la pratique de la visite guidée?” In *Intelligence Artificielle, Culture et Médias*, edited by Véronique Guèvremont and Colette Brin, Les Presses de l’Université Laval: Quebec, 2024, p. 299.)

2. 以下の文章を和訳しなさい（出典は和訳不要）

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載しています。

（出典：Martin Monestier, *L’art Du Collage*. [new ed.], Dessain et Tolra: Paris, 1996, p. 16.)

令和八年度（二〇二六年度）

京都市立芸術大学大学院（修士課程） 美術研究科 入学試験問題

芸術学・第二外国語（古文書）

問題 1

別紙問題文①について

漢字は新字体に、変体仮名は現行のひらがなに改めて全文を書きなさい。
改行は原文の通りに行うこと。

問題 2

別紙問題文②を現代語訳しなさい。

専門的な知識がなくても意味がわかるよう、平易に訳すこと。

※解答用紙は縦書きで使用すること。

問題の番号を明記すること。

解答用紙は裏面も使用できる。足りない場合は追加を請求すること。

名利はほりし種て志つゝな家いともな
一生はくろくむるよりを流るる水財
は月け建つをまわるにまど書をつい
ぬをまどくならつちちち乃ちち
金銭も水斗をまぐぬ人此つあまう
わつゝりるへ責を流りな家ひとのめ
はるりりむ家このへあち貴
大なる車一肥ふ家金か流りまわも心
あらんぬうてくを流るなりとるるへ責
金ハ山はすく玉ハ倒小あるへ利り
まどあはすくれてをりなる人形り
うつも建ぬ名はたつ貴世に跡きんよう
わつちかりくるるきれ位だくやん事
ねまきしすくれかんとやちりる貴

『徒然草』三八段

○ 元古四を訂るに才一乃公あり先己がんはよく備え
 公沈んで利と貪と奸を射れんと馳倉一僅微も奸
 利を公と挟むといふ夫偽の境に到りて必執疑と生ト
 真眼公塞と多り或い其謝礼小迷ひ或い其考れやみ
 がた小夫とく偽とも夫小定を又ん小真らりとあり
 ごと假置られべ賈物として己が得ん事を欲と是故
 夫偽を宥るれ眼々くして終小貴艦の家名成
 得ん事なり

(大岡春卜『画巧潜覧』)

令和八年度（二〇二六年度）

京都市立芸術大学大学院美術研究科（修士課程） 入学試験問題

芸術学・第二外国語 中国語（含漢文）

問題 1

別紙問題文①を、現代日本語に訳しなさい。（配点60点）

問題 2

別紙問題文②の内容を解釈して、現代日本語に訳しなさい。（配点40点）

※解答用紙の使用方向は、縦書きでも横書きでもよい。裏面も使用してよい。足りない場合は追加を請求すること。

出典

① 劉藝『鏡与中国伝統文化』（巴蜀書社、二〇〇四年、一二頁）

② 明 何良俊『四友齋叢説』巻二十八、画一（中華書局本、二六二頁）

問題文①

この問題は著作権法上の関係により、出典のみを記載していません。

問題文②

管疑馬遠畫。其聲價甚重。而世所流傳之跡。雖最有名者亦不滿意。但曾見其畫星官一小幀。有十二三箇道士着道服立於雲端。似有朝真之意。雲是鈎染。其相貌威嚴中具清逸之態。衣摺亦奇古。當不在馬和之下。則知遠蓋長於人物者。

畫之品格。亦只是以時而降。其所謂少韻者。蓋指南宋院體諸人而言耳。若李范董巨。安得以此少之哉。